

営業職場の将来は、自分たちの手で作りだすぞ！
安全・健康・ゆとり・働きがい実感できる職場と社会から信頼され
鉄道会社としての使命が果たせる駅の未来を切りひらく1・28営業集会

1月28日、東京支社大ホールにおいて1・28営業集会が開催されました。集会では「2020年3月ダイヤ改正」の参加が決定し、安全・健康・ゆとり・働きがいを実感できる職場と社会から信頼され、鉄道会社としての使命が果たせる駅の未来を切りひらくことを目指してまいります。今後の営業活動も、安全・健康・ゆとり・働きがいを実感できる職場と社会から信頼され、鉄道会社としての使命が果たせる駅の未来を切りひらくことを目指してまいります。

「2020年3月ダイヤ改正」の参加が決定し、安全・健康・ゆとり・働きがいを実感できる職場と社会から信頼され、鉄道会社としての使命が果たせる駅の未来を切りひらくことを目指してまいります。今後の営業活動も、安全・健康・ゆとり・働きがいを実感できる職場と社会から信頼され、鉄道会社としての使命が果たせる駅の未来を切りひらくことを目指してまいります。



1月14日 東京支社より「2019年度営業関係施策（その3）について」提案を受ける

- （上中並駅）** 3月1日実施
 - 一部時間帯の駅選別操作システムを導入する。
 - 現行の体制で稼働から撤廃し対応をすることとなる。制駅は王子駅とする。
- （高輪ゲートウェイ駅）** 3月14日開業
 - 3月14日、駅業務全般委託の開始。管理駅は品川駅とする。泊まりの駅長を配置することを検討している。そのため管理駅である品川駅の体制は強化しない。
- （池袋ノ水駅）** 3月14日実施
 - 令和2年3月ダイヤ改正での急線分離による体制見直しを行う。
 - 現行体制の乗客5機から4機1日動へ変更する。日動は午前中から始まる7Hの勤務を検討している。
- （中野駅）** 3月14日実施
 - 令和2年3月ダイヤ改正により緩行・快速の終電が、0：30以降編成するため、出札の体制を現行の体制を2機1日動へ変更し、終電対応に充てることを検討している。
- （上野駅）** 3月20日実施
 - 2019年5月に提案をした不忍改札と公園改札を業務委託する。
 - 不忍改札、公園改札へ、一部時間帯の選別操作システムの導入を5月18日頃実施する予定。制御箇所は、現在JES5へ業務委託の入浴改札とする。
- （豊島橋駅）** 4月1日実施
 - 埼京線南行ホームにITVを整備し視認性が確保できたことから、現行体制の乗客2機を廃止する。
 - 内勤営業1機を新設し、過失対応や車イス対応を行えるようにする。
- （代々木駅）** 10月1日実施
 - 駅選別操作システムを導入（北口改札）し、業務委託改札コーナーの契約を見直す。本体へ1機増やし、本屋改札の補助も含めて対応が出来るようにする。

1月28日 東京支社より「東京総合車両センター業務委託拡大について」に関する申し入れ団体交渉を行う！

本協会は、技術力・ノウハウを後進へ継承すること、エルギー社員の雇用の確保を図ること、そしてエルギー社員の技術力・ノウハウを活かせる仕事の場を拡大することを目的として、車体中心の車体修繕作業の一部を委託する。車体修繕作業の一部を委託する。車体修繕作業の一部を委託する。

交渉の主な議題

- これまで行ってきた業務委託の成果と課題について
- 成果：エルギー社員の雇用の場を確保してきていること。
- 課題：委託によって「JR本社のフィールドが縮小すること、教育がでなくなること、偽装請負についての教育について、偽装請負を発生させないよう周知・教育していくこと、若年志向について、エルギー社員雇用を前提とした人が対象となること、対象者には面接を行い希望に沿うよう実施していくこと、希望者がオペレーターの場合は個人の状況を見て入選を進めていく、ショートした場合は他業の目的に合った形にしていくこと、労働環境の整備について、エルギー社員が意欲を持って働けるよう労働環境についても整備していくこと。

1月10日 東京支社から「2020年3月ダイヤ改正等について」提案を受ける！

- 1. 主な構造改善**
 - 新幹線
 - 東北新幹線
 - 上野新幹線
 - 在来線
 - 東横線
 - 中央線
 - 成田エクスプレス
 - 中央線（快速）
 - 中央・総武緩行線
 - 山手線
 - 京浜東北・横濱線
 - 2. 車両通用の見直し・検修及び構内作業の見直し**
 - ダイヤ改正に伴う車両通用の変更、出入区変更
 - 3. 車両配置数の見直し**
 - 「Fusion1系」の「E259系」への置き換え
 - 4. 乗務員運用の見直し**
 - ダイヤ改正に伴う設定変更、行先変更
 - 青見・介添行路、短絡行路の設定変更
 - 中央線特急列車の乗務員運用見直し
 - 5. 折返し時間の見直し**
 - フェイスタイトム導入に伴う折返し時間短縮による影響
 - 駅所や休館時間の短縮に伴う影響
 - 6. 渡勤員の見直し**
 - 詳細は、FAXニュースを参照して下さい。
 - 7. 作業体制の見直し**
 - 詳細は、FAXニュースを参照して下さい。
- 提案を受けるにあたっての東京地本の見解**
- これまでの労使協力が否定され、ダイヤ改正の提案が1月10日になって、協議が都合よく進められ、労使の協議する時間が保証されず、悪質・意図的な交渉の形質化である。現場や支社の実情を踏まえては、負担をかけるようにしたいが、1年間の労働条件に関わるために協議を行っていくので、東京支社の誠実な対応を求め、現場には情報が無い。必要な訓練も確保すべきである。
 - 中央線特急の新車導入は1年しか経っていないため、一人乗務を基本とする考えは時間短縮である。
 - 田端運転所の検修体制の見直しはダイヤ改正とは関係なくあり、この間進捗している通り日程ありきで進めるべきではない。
- 東京地本は、鉄道の安全と働きがいを向上させるダイヤ改正をめざし、議論を厚くします！**

